

白神の絆

岩木山



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

令和3年度 森林教室・自然再生活動の開催について

令和3年度の森林教室・自然再生活動についてお知らせします。

お申込みの前に以下の項目について確認を行ってください。

①以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせてください。

- ・体調がよくない
- ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる者がいる
- ・過去2週間以内に入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航又は該当在住者との濃厚接触がある場合

②募集期間からイベント当日までに、再度、感染拡大の傾向が発生した場合は、イベントを中止することがあります。

③イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに当センターまでご連絡ください。

◎第1回森林教室

【青葉かおる十二湖と森林散策】

開催日：令和3年5月22日（土）

開催場所：青森県西津軽郡深浦町 十二湖内

募集定員：10名

（応募多数の場合は抽選とします）

参加費：400円

（傷害保険料・駐車場料金）

その他：昼食・雨具・マスクを持参

募集期間：4月26日（月）

～5月14日（金）まで

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

応募方法：電話・FAX・ハガキにてお申し込みください。

*詳細につきましては、ホームページ又はチラシ等でご確認ください。

【**新型コロナウイルス感染症の発生状況により、中止となる場合があります。**】

【**新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、募集定員を例年より減らしております。**】



森林教室の様子

以下の日程につきましては、詳細が確定次第「白神の絆」でお知らせいたします。

◎第1回自然再生活動

～水を育む ブナ林再生教室～

開催日：令和3年7月17日（土）

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村 暗門
（鬼川辺国有林内） 他



自然再生活動の様子（苗木採取）

◎第2回自然再生活動

～元の天然林をめざし、ゆっくり時間をかけて
再生への一歩～

開催日：令和3年9月11日（土）

開催場所：青森県中津軽郡西目屋村 暗門（鬼川辺国有林内） 他

◎第2回森林教室 【タイトル未定】

開催日：令和3年10月23日（土）

開催場所：**【予定】** 青森県中津軽郡西目屋村 暗門溪谷

令和3年度 センター職員からの一言

令和3年度に向けて 所長 田中 裕治

桜も咲き誇り、津軽にも白神山地にも春がきました。

早いもので津軽白神森林生態系保全センター業務を担当して二年目に入ります。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で森林教室を中止し、自然再生活動については予定人数の半分で実施しました。また、各種会議も一部書面開催に切り替え実施するなど新型コロナウイルスに振り回された一年でした。

現在、新型コロナウイルスは終息する兆しは見えませんが、令和3年度は予定しているイベント、会議等が通常とおりに行えるよう願うばかりです。

例年確認されている樹木の損傷・マナー違反の未然防止に努めると共に、昨年緩衝地域で確認されたナラ枯れの被害についても早期発見をするため、白神山地世界遺産地域の保全管理巡視活動を行っていきます。

また、ニホンジカ関係については、前回の「白神の絆」でも記載しておりますが、深浦町方面で越冬している可能性があるため、今後の調査においても生態系に影響が出る前に対策を講じられるようニホンジカの監視に務めていきます。

今年度も津軽白神森林生態系保全センター業務にご協力いただくと共に白神山地の自然を満喫してください。

新年度にあたり 自然再生指導官 小倉 俊一

昨年度のイベントに関しては、定員20名のところをソーシャルディスタンス確保のため、やむなく半数の10名程度で自然再生活動を2回実施できましたが、森林教室は残念ながら感染拡大の時期となってしまうと中止とさせていただきます。

今年度も相変わらずのコロナ禍ではありますが、「森林教室」および「自然再生活動」

を2回ずつ計画しております。感染防止対策を徹底し、参加者みなさんの安全確保を最優先し実施していきたいと思います。

特に自然再生活動に関しましては、平成22年度から行っており、皆様のご協力のもと実施しているところです。この活動を絶やすことなく継続することが大切でありますので、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

ここ鯉ヶ沢町では、ようやく桜が満開となりました。新しい年度におきましても多くの皆さんにイベント参加いただける事を願っております。(小倉)

ひとこと 農林水産技官 木村 航汰

昨年度から引き続き当センターに配属されることとなりました、木村です。本年度もよろしくお願ひ致します。

昨年度は、白神山地のパトロール、各種イベントや会議などを通して白神山地について様々な新しいことを経験し、また、学ぶことができました。しかし、コロナウイルスの影響で森林教室を開催するには至らず、残念に感じることもありました。今年度は森林教室等イベントが予定通り開催できることを願うばかりです。

また、この白神の絆を通して、皆様に当センターの白神山地の保全活動等を紹介してきたところですが、今年度は植物や動物、パトロール中に発見したものなどに関するコーナーを設けて、白神山地の魅力も紹介したいと思っております。今月号に早速掲載しましたのでぜひご覧ください。

今年度こそ 非常勤職員 下山 優美

前年度は、様々なイベントや体験学習等が規模縮小や中止となり、例年とは異なる状況で経過した一年に感じられました。今年度こそはセンターで開催予定の全4回のイベントを実施できることを願わずにはられません。

皆様と笑顔でお会いできることを希望しつつ、今年度もよろしくお願ひいたします。

今年もセンサーカメラの設置を始めました



カメラ設置の様子 (*1)

4月に入って暖かい日が増えてきました。それに伴い、白神山地周辺地域に積もっていた雪が解けるのを見計らって、例年同様に中・大型哺乳類調査のためのセンサーカメラの設置を進めているところです。

先月まで行っていた、ニホンジカの越冬地調査で使用していたセンサーカメラは計17台でしたが、今年度は例年同様計32台の設置予定です。先日早速設置しに現場へ行ったのですが、一部積雪がありセンサーカメラを設置することがで

きない箇所もありました。今後、気温の高い日が続き、天気の良い日を見計らって残りのセンサーカメラを設置する予定です。(木村)

(* 1 補足説明：年度初めにカメラを設置するときは、設置する木や撮影角度等を毎年揃えるように気を付けて作業します。そうすることで哺乳類の生息状況を年度ごとに比較したり、その推移を把握することができるようになります。)

コラム：春の植物

春に花を咲かせる植物は「スプリング・エフェメラル」と呼ばれ、「春のはかないもの」「春の妖精」という意味があります。実際に、春一番に花を咲かせ、春が終わると枯れてしまいます。今回は現場に行って撮影したスプリング・エフェメラルのうちの一つを紹介します。



カタクリ

カタクリと聞けば、料理に使う片栗粉を思い出します。昔は実際に、カタクリの球根から片栗粉を作っていたそうです。

また、花言葉は「初恋」で、カタクリの花が俯いて咲いている姿が、恥ずかしく思う乙女の姿を連想させることからその由来が来ているみたいです。

後ろで白く咲いているのは同じスプリング・エフェメラルのキクザキイチゲです。

白神山地で見られる他のスプリング・エフェメラル

アズマイチゲ、フクジュソウ、ニリンソウ、エゾエンゴサク など

コラム：写真展の一枚

当センターの写真展にご来場されるのが困難な方向けに、毎月白神の絆で、写真展で展示してある一枚を解説と一緒にご紹介したいと思います。



ヤマドリ

キツツキがくちばしで木を叩いて「コロコロ」と音を鳴らす「ドラミング」を聞いたことはありますか？

実はキジの仲間のヤマドリも「ドラミング」をします。ヤマドリは、自らの羽を打ち鳴らしてドラミングをします。「ドドド」と、とても大きくて低い音が鳴るらしいです。

私が白神岳をパトロールしているとき、周りで「ドドド」と不気味で低い音が聞こえた経験があります。白神山地を散策中に「ドドド」と音がしたら、近くにヤマドリがいるのかもしれない。